

2-9

感染予防の取り組み

利用者を感染症から守るために私たちが出来ること

感染対策

感染予防

特別養護老人ホーム 中央本町杉の子園

感染美化委員会 委員 田口可奈

東京都足立区中央本町4-14-20

TEL : 03-3886-0002

E-mail chuuouhonchou-suginokoen@s6.dion.ne.jp

FAX : 03-3886-1600

URL : http://www3.tokai.or.jp/suginokoen/index.html

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

中央本町杉の子園は、特養が長期入所 60 床、短期入所 10 床の施設です。家庭的な生活の提供を理念とし、利用者の誕生日には本人の希望に添えるようにしています。また、地域との交流も大切にし夏祭りの開催、近隣学校のボランティアの受け入れも積極的に行っています。

〈取り組んだ課題〉

- ・ 全職員への感染予防の理解、周知徹底
(統一した予防方法をするために。)
- ・ 感染予防マニュアルの作成

〈具体的な取り組み〉

- ・ 美化委員会から、感染美化委員会へ
- ・ 月に一度各部署が集まりマニュアルの作成

* 特養の取り組み *

- ① 排泄介助での、感染予防。
- ② 電解水(強酸性水)での手指消毒・手すり拭き。
- ③ インフルエンザ・O-157・ノロウイルスなど流行する前に職員へ予防法の説明。

〈活動の成果と評価〉

- ① 排泄介助の必要な利用者には、ゴム手袋を使用する。その際バケツを持ち汚物を入れるようにした。
→ゴム手袋の使用は継続出来ているが、バケツを持って排泄介助に入る習慣はついていない。
- ② 電解水(強酸性水)を使用し、陰洗も行っている。食事の前には、必ず手指消毒をする。手すり拭きは、日勤帯・夜間帯の2回行う。
→手すり拭きを始めた当初は汚れが酷かったが今では綺麗になった。陰洗・手指消毒は、継続できている。
- ③ 感染症が、流行する前に予防法を特養会議で説明し、申し送りや申し送りノートで周知徹底に努めた。
→去年は、園内で感染症(インフルエンザ・ノロウイルスなど)の発症がなかった。職員の発症はあったが早急な対応が出来た為、院内感染につながらなかったのではないかと。
→全職員の周知徹底が出来ていたのではないかと。

〈今後の課題〉

- ・ 現在、おしぼりは職員の手で洗濯し、ホットキャビに入れるという作業をしているが、使い捨ておしぼりか業者からレンタルするようにしたい。

理由・・・雑菌やカビの繁殖をさせない為。